



TIKTOK くんには

司祭 テモテ 遠藤 洋介

「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。」

「コリントの信徒への手紙Ⅱ 5章17節 会、中高生会や青年会などが

活発でクリスマスには聖劇をし、イースターでは食べきれないほどの持ち寄りでにぎやかな祝会が行われていました。私も地元の教会で毎年クリスマス会の祝会では園舎のホールにたくさんテーブルを並べ、余興をしたり鍋を囲んだりして楽しくお祝いの記憶があります。信徒数の減少は、教会活動にも影響が、出来ることに制限されてしまいました。止む無く婦人会活動ができなくなったり、若年層がほとんどいないような教会が増えてきたり、奏楽者が与えられず、毎週ヒムプレイヤードで聖歌を歌ったり、サーバーやオルター、アッシャーがいらない教会も少なくありません。こうした礼拝奉仕者が与えられない教会がある一方

で、パソコンやスマートフォンが得意な方が与えられ、教会のホームページやSNS、Youtubeなどでの宣教活動を行っている教会もこの数年で増えてきました。教会での愛餐会の準備や片づけは男女関係なく協力して共に担うことも今では珍しくありません。私たちの暮らすこの社会と同じく、教会は礼拝だけでなく色々なことにおいて伝統と刷新が入り混じっており、それに伴って変化も起きます。その変化に対して私たちは抵抗、拒否するのではなく神さまの御心を求め、時には受け入れる必要があるのです。

イエスさまはユダヤ教が頑なに守り通してきた古い慣わしを改めて、神さまと人の新しい救いのための約束を与えてくださいました。しかし、ユダヤ教を排除したのではなく、律法の本質である「愛の戒律」を教え直されたのです。最近では、新しいものが出てきても数か月後には時代遅れと言われ、食べ物も言葉も歌もアニメも流行りがすぐに全く違うものになっていきます。受け取る側に大事な柱がないためブレブレなのです。でも教会は違います。信仰という太い柱があります。守るべき伝統を残し活かしながら、柔軟に変化していくことができます。故きを温ねて新しきを知る。小さく弱くなっているように見えますが、視野を広げ、大切なことをしっかりと守れる私たちの教会はまだ挑戦できていないこともたくさんあるはず。時代の変化とともに成長している教会を目指していきたいのです。

(松山聖アンデレ教会牧師)

2024年
8月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<https://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者
司祭 林 和 広

印刷所
文明堂印刷所

27年目の沖繩の旅

執事 ルカ 宮田 裕三



1997年、東京・横浜の青年たちで沖繩スタディーツアーを企画して、沖繩の戦跡巡りをしました。大型自動車免許を持っている私は、小緑聖マタイ教会の幼稚園バスをお借りして運転手として沖繩の戦跡を巡りました。お願ひした戦跡ガイドの女性からは「運転手さん」と呼ばれていました。

2024年、神戸教区の社会部、正義と平和担当者として沖繩の旅に参加しました。初日は集合時間よりも早く沖繩に入り、ハンバーガーショップA&W牧港店へ行きまし

た。1984年公開の映画「メインテーム」に登場したお店です。米津玄師氏の新曲「さよならまたいつか」のMVで登場したお店のためか、たくさんの人であふれていて、おじさんひとりで行く場所ではなかったように感じました。A&Wはアメリカンスタイルのハンバーガーショップでお洒落に感じるお店です。ハンバーガーを食べ、ルートビアを飲み、航空機の爆音が響く梅雨明けの青い空を見ながら、沖繩に来たことを実感しました。私はアメリカンスタイルのお店で何を感じて

沖繩を実感したのだろうかと思ひ巡らせました。私が喜んでいるのはアメリカ的な沖繩なのか、沖繩的なアメリカなのか、それとも沖繩そのものののか。

沖繩には国家の暴力装置であるアメリカの軍隊と最近増えつつある自衛隊の基地が日常の中に組

み込まれています。27年前は戦跡を巡り、沖繩の人たちの悲劇の現実の一端を知りました。今回は米軍基地と自衛隊

基地の存在ゆえに起きていた問題について知ることになりました。普天間、辺野古、ホワイトビーチ、北谷。小さな女の子が街をひとりで歩いているのを見ると胸がキュッと締め付けられる思いに駆られました。この原稿を書いて6月28日にも米軍兵士による女性への暴力事件の報道がありました。自然破壊、生活環境破壊、人権侵害、性暴力……。「沖繩の声を傾けよう」というサブタイトルが沖繩の旅に付いていました。今おかれている沖繩の声を傾けました。沖繩の声を聞いた私はいかに当事者のひとりとして立つことが出来るのかを問われているのでしょうか。私自身が「立ちなさい」と呼びかけられた沖繩の旅でした。

27年前のガイドの女性は、偶然にも今年のガイドを務めてくださいました。27年目の再会にお互いの変化に声を挙げて驚きました。

宣教委員会から教会の皆様へ(4)

教区宣教委員会 司祭 バルナバ 瀬山 会治

宣教委員会から教区内の各教会に提言をさせていただきましたが、最後は、教会の教役者と信徒が共に協力して教会外の人々への宣教を行うことについてです。

毎年、教会でバザーやコンサート、講演会を継続して行える教会がある一方で、そうした従来の催しが、人的にも経済的にも困難になってきている教会もあります。そのような教会では、

宣教活動が難しい場合には、関係施設や近隣の教会と合同で活動することも視野に入れてみてはいかがでしょうか。また、他の団体へ教会施設の使用などの関わりを通して新たな宣教のきっかけを見出すことも考えられると思われま

す。宣教は「神の国は近づいた」と言う福音を世の人々に宣べ伝えることですが、その方法は各教会に委ねら

れています。教会の宣教活動は、人を集めるための催しだけではありません。多様な宣教方法の中から、その教会に適した宣教方法を行うことが肝心です。「できない」と教会の宣教活動をあきらめるのではなく、今の状況を変化のための良い機会として捕え、新しい宣教の形を考えていただきたいと願ひます。

この宣教提言は、皆さんの教会で、皆さんが行う宣教について考えていただく助けとなるように作成いたしました。あなたの教会の宣教は誰かがやってくれるのではなく、教会の皆さん一人ひとりが信仰を強められ、教会が成長するために神様から委ねられた使命であることをこの機会に確認していただきたいと願ひ申し上げます。

オーガスタンの まなざし



主教 小林 尚明

『沖縄週間』 沖縄の旅に参加して』

沖縄の梅雨の明けた6月21日(金)から23日(日)まで沖縄の旅に参加して来ました。記録を見ると6年ぶりでした。

沖縄在住のお二人からお話を聞きました。「生まれた時から基地があり、当然のことだと思っていたが、一度東京に行って、初めて沖縄のことが分かった」と言われ、「基地問題はプラス面とマイナス面があり、話題にすることがタブーに感じる」と言われていたことが、心に残りました。

の説明では、毎日午前中に飛行訓練がありますが、慰霊の日(6月23日)が近づけば、ありません、とのことでした。不気味にオスプレイが、整列して置かれていました。その後、辺野古基地の埋め立て予定海岸を大浦湾の反対側から見学し、そこで「平和の祈り」の時を持ちました。聖歌の423番を歌いましたが「海が血に染まり望みがうばわれ洞窟の中絶えゆく命救いを求めて叫ぶ声に主よあなたはどこにおられた」という言葉に心が締め付けられる思いでした。

(神戸教区主教)

世界の聖公会の動向

司祭 ポール・トルハースト
(神戸MTSチャプレン)

アメリカのメソジスト教会とのフル・コミュニケーションが近づく

4月30日、アメリカの合同メソジスト教会の総会において、米国聖公会とのフル・コミュニケーション関係が承認された。2027年に予定されている会議までは実現の可能性は低いものの、もし米国聖公会がこの合意を承認すれば、2つの教派が互いを「福音が正しく宣べ伝えられている、1つの聖なるカトリックの使徒教会」と認めることとなる。

アングリカン・コミュニティの新スクール・ネットワーク、教育関係者に交流の場を提供する

現実的な利点の一つとして、牧師が他教派の教会でも奉仕できることが挙げられる。

フル・コミュニケーション関係となれば、メソジスト教会と米国聖公会は互いの洗礼と聖餐の正当性を認め、互いの信徒へ聖餐のもてなしを差し伸べ、互いの司祭・長老・執事の按手を認め、共同の教育資料を作成し、積極的な連携強化と協議の場を持って維持していくことを意味する。

パース大主教のケイ・ゴードスワージー師が議長を務める、アングリカンの教育者のための新ネットワークが設立された。これは、18歳未満の児童および青少年に対する学校教育を指導・推進する責任を負う、校長・チャプレン・理事なども含んだ、世界中の教育者を対象としたものである。

育者たちにとって、このネットワークが素晴らしい存在となることを望みます。私たちがアングリカンのスクールには、若者の教育に尽力する才能豊かな人材が大勢います。きっと、皆が協力し合う良い機会となることでしょう。」

アングリカン・コミュニティ・オフィス総主事のアンソニー・ポツゴ主教は次のように述べている。「アングリカン・スクール・ネットワークが実現したことを嬉しく思います。世界中のアングリカン・スクールに通う子どもたちは、多くの場合、優れた教育を受けています。コミュニティオン各地を旅する中で、私は数多くの学校を訪問しました。とても優れた模範として、担当した教育者の皆さんの功績を目にしたのです。このネットワークは非常に重要なもので、すでに素晴らしい働きをして下さっているメンバーに、目指す成果に献身する沢山のクリスチャンの家族の一員として、自分たちが孤独ではないという自信を与えることに繋がります。」

鳩だより

《敬称略》

ご逝去

4月23日(火)

マリア 中原 恵美子
徳島聖テモテ教会

6月19日(水)

ルシヤ 上田 ミサ子
徳島聖マリア教会

広島伝道区

「信徒修養会2024」

6月21日(金)、22日(土)、一泊二日で周南市湯野温泉「紫水園」、徳山聖マリア教会で「広島伝道区信徒修養会2024」が開催されました。講師には、この春、松山聖ア



ンデレ教会に赴任した、遠藤洋介司祭と呉信愛教会囑託の松本正俊司祭にお願いしました。遠藤司祭は「東北見聞録」と題しスライドで東北教区の紹介(宣教や財政問題)を、松本司祭には「宣教としての礼拝音楽、神の民による教会の(歌)声」をテーマに、礼拝にいきいきと参加するためのポイントを伝えていただきました。参加者29名。

神戸教区教役者修養会

6月25日(火)から27日(木)にかけて、岡山県総社市のサントピア岡山総社で「神戸教区教役者修養会」が開催され、ハラスメント、コンプライア



2024年 日本聖公会神戸教区宣教部主催

青年交流会 ワークキャンプ in 徳島

この度、神戸教区宣教部では、鳴門聖パウロ教会でのワークキャンプを企画しました。9月とはいえ、まだまだ暑い時期ですが、熱中症に気をつけながら、少しでも皆様との「交わり」のひと時を持つことができればと思っています。1人でも多くの参加者をお待ちしています。

記

日程 2024年9月22日(日)~23日(月・祝)

開催場所 日本聖公会 鳴門聖パウロ教会

宿泊先 日本聖公会 徳島聖テモテ教会

内容 鳴門聖パウロ教会の敷地内の除草作業や清掃

持ち物 祈禱書、新共同訳聖書、着替え、軍手、各自必要な物

参加費 2,000円 **申込締切** 9月11日(水)

*各教会で取りまとめて、お申し込みください。



9月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2024年9月5日(木) 午前10:30

場所 神戸聖ミカエル大聖堂

司式 主教 小林 尚明

説教 司祭 坪井 智

どなたでもいらしてください

*9月の記念逝去教役者

- | | | |
|-----|-----|-----------------|
| 1日 | 伝道師 | 緒方 政 枝 |
| 3日 | 伝道師 | 上西 八 枝 |
| 4日 | 執 事 | ラザロ 布施 好古 |
| 5日 | 伝道師 | 倉敷 昇 子 |
| 9日 | 伝道師 | 三宅 福 恵 |
| 10日 | 司 祭 | ステパノ 片山 民治郎 |
| 10日 | 司 祭 | 森 淑 次 郎 |
| 11日 | 司 祭 | ステパノ 高橋 正平 |
| 12日 | 主 教 | ヘンリー エピントン |
| 13日 | 宣教師 | レティシア エドワーズ |
| 16日 | 司 祭 | ウイリアム マレー・ウォルトン |
| 17日 | 司 祭 | アブラハム 米村 勇雄 |
| 20日 | 伝道師 | 吉田 照 子 |
| 20日 | 司 祭 | ヨシュア 前田 次郎 |
| 21日 | 伝道師 | ルデア 高見 テル子 |
| 25日 | 宣教師 | ドロシー グレックソン |